

## 「文体練習」

— チェロとダンスによる —

中川統雄新作・世界初演

ある日バスの中で起こった他愛もないひとつの出来事を、99通りの文体で変幻自在に書き分けたレーモン・クノー作『文体練習』\*。従来の音楽の概念を越えた楽曲で定評のある作曲家、**中川統雄**はこの作品に着想を得て、チェロの特殊奏法の名手である**山澤慧**を念頭に、99のフレーズから成る

「文体練習」—チェロ独奏のための99の変奏曲—  
Exercices de style « 99 variations pour violoncelle seul »

を書き下ろした。

共演には、舞台・メディア等で数多く活躍する**酒井直之**、**小暮香帆**の2名のダンサーを迎える。舞台演出は、コンサート企画から批評執筆まで手がけ、コントラバス奏者としても活動する**布施砂丘彦**。

気鋭の布陣による斬新な試みに乞うご期待！！

\*レーモン・クノー著／朝比奈弘治訳 朝日出版社。  
クノー（1903～1976）は『地下鉄のザジ』などで知られるフランスの小説家。

2022年11月28日(月)・29日(火)

開演 19:00 | 開場 18:30 両日共通

トーキョーコンサーツ・ラボ

東京都新宿区西早稲田 2-3-18

全席自由

一般 4000円 | 学生(25才以下) 2500円 \*当日申込は各500円増し

ご予約 → Peatix <https://toconlab20221128-1129.peatix.com>

10月末日までにお申込みの方の中から抽選で2名様に『文体練習』（朝日出版社刊）をプレゼント!



チロ **山澤慧**  
Kei Yamazawa

東京藝術大学、同大学院修了。ライフワークは、チェロを通して表現の可能性の追求。近年はダンサーとの共演など、ジャンルを超えた活動に取り組んでいる。またアンサンブル活動にも力を入れており、チェロアンサンブル XTC のリーダーとして活躍中。



ダンス **酒井直之**  
Naoyuki Sakai

ダンサー・映像作家。東京藝術大学大学院修了。パーキンソン病と共に生きる人々との芸術活動「ダンス・ウェル」講師。

2012～2019 年コンテンポラリーダンスカンパニー〈Co. 山田うん〉に所属し、国内外の公演に参加。音楽ライブ出演、MV、ミュージカルの振付・出演など幅広く活躍。企画・監督した地域活性 PV「おかしな音頭」が、藝大アートフェス 2022 にてグランプリを受賞。



ダンス **小暮香帆**  
Kaho Kogure

自身の作品を発表しながら劇場、音楽ライブ、メディアなど様々な領域で活動。

第 6 回エルスール財団新人賞受賞。DaBY レジデンスアーティスト。2022 年度アーツコミッション・横浜 U39 アーティストフェロー。  
<https://kogurekaho.com>

照明 植村真

舞台監督 鈴木英生 (カン工房)



中川統雄《文体練習》手稿譜

作曲家・マスタリングエンジニア。東京藝術大学音楽科（作曲専攻）及び同大学院音楽研究科作曲専攻修了。日本音楽コンクール作曲室内楽部門第 2 位。E. ナカミチ賞受賞。Vairocana 名義にてソロプロジェクトアルバム 2 枚（ジパングレコード、ぬらりひょんレコード）、Cockroach Eater 名義にて共同プロデュースアルバム 2 枚（共にジパングレコード）をリリース。その他様々な音楽家、アーティストに楽曲を提供。代表曲 The Secret of Antikythera（ピアノソロ）、Cryptobiosis（フルト 2 本 + ピアノ）、Doomsday 3.11 AD2077 他



作曲 **中川統雄**  
Norio Nakagawa

天才中川が『文体練習』を五線譜に起こし、  
気鋭のチェリスト山澤が音符を音に換える。

そして酒井、小暮の身体は音を捉え、躍る。

演出 **布施砂丘彦**  
Sakuhiko Fuse

フランスの小説家レーモン・クノーが 1947 年に発表した『文体練習』は、99 の断章から成る文学作品である。それぞれの断章は 4 行から 4 ページ。描かれている内容はすべて同じだ。異なるのはその文体である。「メモ」から始まり、「厳密に」「あらたまった手紙」「コメディ」「電報」「聞き間違い」「食べ物」など、ありとあらゆる方法で同じ話が記述される。

ここでクノーが目指しているのは、さまざまな視点から見ることで物語の本質を炙り出す、ということではない。物語はあまりに凡庸だ。要約すると、「バスのなかで他の乗客に怒っている若者を、2 時間後に別の場所でまた見かける」という話である。内容は、文体の豊かさによって貧しさが強調されるだけでなく、「語頭音消失」や「子音交換」ではもはや意味不明なものとなっている。

すなわち、これまでわたしたちが文章において（小説なりエッセイなり学術書なり）本質と思っていた作品の内容は非本質となり、それまで非本質であったはずの文体こそが本質へと転倒しているのだ。

「練習 exercices」を通して非本質を本質へと転倒させる。「ラボ」と銘打たれた会場にこんなにもぴったりの作品はないだろう。中川氏の新曲に対して、私の演出が何を練習し、何を転倒させるか、首を“ひょろ長く”して待っていてほしい。

———布施砂丘彦



東京藝術大学卒業。コントラバス奏者としてプロオーケストラへの首席客演、古楽から実験音楽まで幅広いジャンルの演奏を行うほか、コンサートやテレビ番組などの企画制作、新聞や雑誌への寄稿など、その活動は多岐に渡る。時評「音楽の態度」で第 7 回柴田南雄音楽評論賞奨励賞受賞。箱根おんがくの森アートディレクター。

## ACCESS

電車▶  
東京メトロ東西線「早稲田駅」下車 徒歩 6 分  
（出口 2・3b より穴八幡神社方面へ）  
東京メトロ副都心線「西早稲田駅」下車 徒歩 10 分（出口 2）  
JR 山手線・西武新宿線「高田馬場駅」下車 徒歩 18 分  
バス▶  
JR 山手線・西武新宿線「高田馬場駅」早稲田口より都バス「早大正門」行「西早稲田（学 02）」下車 徒歩 2 分  
「九段下」「上野公園」行「西早稲田」下車 徒歩 4 分



お問合せ 東京コンサーツ  
東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
03・3200・9755（平日 11:00～16:00）  
<https://www.tokyo-concerts.co.jp/>

\*やむを得ず出演者、曲目などに変更がある場合がございます。  
\*本公演は新型コロナウイルス感染症予防、拡散防止への対応策を徹底した上で実施いたします。